

# 羽越水害40年行事の取組内容

羽越水害という歴史的な教訓を語り伝えるために、  
国・県・市町村が協働で実施。



## 羽越水害40年巡回パネル展

【開催月日】

平成19年3月1日～7月29日

【開催場所】村山・置賜全20市町

【参加者数等】23,206名

(アンケート回答776名)

【開催内容】

羽越水害をはじめ、これまでの災害情報・防災情報をパネルにまとめ、村山・置賜全市町を巡回した。

(パネル枚数は約140枚)



## 川の防災情報・公開講座

【開催月日】

平成19年7月30日～8月21日  
(5回)

【開催場所】

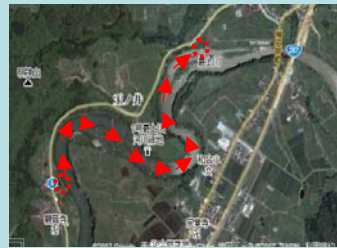
山形県村山・置賜総合支庁  
(5庁舎ごと)

【参加者数】474名

【開催内容】

各5会場ごとの地域性を踏まえ、羽越水害体験者による体験談、近年の豪雨災害活動報告、さらに現在の河川防災等の取り組みについて紹介するなどして、意見交換を実施。

# 羽越水害40年行事の取組内容



## 最上川子ども交流会

【開催月日】

平成19年7月28日(土)

～29日(日)

【開催場所】

村山・置賜地方

【参加者数等】 30名

(村山・置賜地方在住の

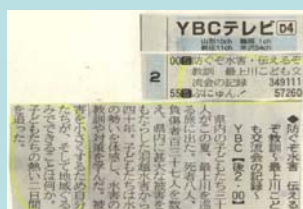
小5～中2)

【開催内容】

次世代を担う子ども達を対象に、水害に対する様々な見学や体験を通じて羽越水害のもたらした被害や教訓を知り、水害から人や街をまもる術について学ぶ体験型の交流会を実施。

※平成19年9月2日(日)14時から1時間番組で放送。

「防ぐぞ水害 伝えるぞ教訓  
～羽越水害から40年 最上川子ども交流会の記録～」



# 羽越水害40年行事の取組内容



## 首長を中心とした意見交換会

【開催月日】平成19年8月25日(土)  
11時00分～13時00分

【開催場所】ゆ・ら・ら第一会議室

【出席者】普及協議会メンバー  
来賓:兵庫県豊岡市長、  
東北地方整備局河川部長、  
山形県土木部長

### 【意見交換会概要】

兵庫県豊岡市長及び東北地方  
整備局河川部長を来賓に迎え、  
流域20市町の首長による意見  
交換会実施  
(当日7市町が副市長等の代理出席)

## 防災シンポジウム

・美しい最上川の四季の風景を  
写し、会場全体を「最上川」へ  
と導入



・時代・世相映像を踏まえ、  
40年前の生活の様子を投影



羽越水害の映像をイメージ  
的に投影。



防災シンポジウムスタート



【開催月日】平成19年8月25日(土)  
【開催場所】中山町総合体育館  
【参加者】766名

●基調講演 **あの水害を忘れない**  
～平成16年 台風23号の経験から～  
兵庫県豊岡市長 中貝 宗治氏

●ミニトークショー**雨について学ぼう!**  
気象予報士 半井 小絵氏

●パネルディスカッション  
○コーディネーター  
山形大学人文学部長 阿子島 功氏

○パネラー  
兵庫県豊岡市長 中貝宗治氏  
気象予報士 半井 小絵氏  
東北地方整備局河川部長 南 哲行氏

同時開催イベント  
降雨体験、防災展、羽越水害パネル展、  
避難所展

# 羽越水害40年行事の取組内容

## ● 基調講演 あの水害を忘れない

～平成16年 台風23号の経験から～



兵庫県豊岡市長

中貝 宗治 氏

豊岡市が洪水に見舞われたときの生々しい様子や、そこで得た教訓を踏まえて、数々の貴重な意見を頂きました。

[主な内容(抜粋)]

『堤防決壊で市内は泥水の海に、さらに大量のゴミと泥との戦い。』

『災害当日の対策と対応排水ポンプ停止という苦渋の決断。』

『物理的、制度的、意識・態度の備えが不可欠と痛感。』

○物理的な備え  
「堤防の整備」「遊水地の確保」「交通ネットワークの整備」

○制度的な備え  
「救助から復旧・復興までの体系的な法制度整備」「生活再建支援制度の充実」「応急対策・生活再建・産業復興に関する総合支援プログラム」「現場からのノウハウの集大成」

○意識・態度の備え  
「地域の自然の特徴を知る」「防災・減災意識の醸成」「災害・危険情報システムの充実」「リアリズムに対しての災害対策訓練」「政策責任者の危機管理研修」

『まず、逃げること、人と人との絆が命を救うことを認識。』

『復興と希望の象徴コウトリ。自然との共生を目指して。』

# 羽越水害40年行事の取組内容

## ●ミニトークショー 雨について学ぼう！



気象予報士 半井 小絵 氏

- ◆9月はなぜ台風が多いのか？
- ◆雨の量はどうやって測るのか？

天気予報で使う用語など、雨に関するおはなしを楽しく解説していただきました。

クイズ形式で、最上川こども交流会に参加した子供達の質問に答える形でミニトークショーを実施。

## ●パネルディスカッション



[コーディネーター]  
山形大学人文学部長

阿子島 功 氏

[パネラー]  
兵庫県豊岡市長

中貝 宗治 氏

気象予報士

半井 小絵 氏

東北地方整備局河川部長

南 哲行 氏

最上川の過去・現在・未来をテーマに意見交換を行いました。

[主な内容(抜粋)]

- ・水害との闘い。資産の増加で被害が大に。
- ・情報提供は「緊迫感を持って」「迅速に」そして「わかりやすく」
- ・山形でも集中豪雨は増えている
- ・水害の経験と教訓は最上川に即したかたちで次世代に。
- ・自然と向き合い、官・民一体で広げよう、防災・減災対策。

フィナーレは、次世代を担うこども達によるメッセージで締めくくりました。

# 羽越水害40年行事の取組内容

◆屋外会場～参加者242名～

降雨体験装置



防災展



◆屋内会場

羽越水害パネル展



模擬避難所展



## ●防災シンポジウム

同時開催イベント

◆屋外会場

- 降雨体験装置
- 防災展

◆屋内会場

- 羽越水害パネル展
- 模擬避難所展

## ●その他関係資料

- ① ご近所洪水ハザードマップ
- ② 羽越水害40年行事垂幕
- ③ わたしの防災手帳
- ④ シール  
(～忘れていませんか？水害への備え～「羽越水害40年行事」)
- ⑤ 冠付け  
(～忘れていませんか？水害への備え～「羽越水害40年行事」)
- ⑥ 羽越水害40年ビデオ  
～忘れていませんか。水害への備え～
- ⑦ うちわ

